

令和8年度 若年層自殺予防研修会

「死にたい」という気持ちを聴いたとき、支援者には何ができるでしょう。加えて、自傷といった行動化、背景の複雑さ・多くの支援者が『対応が難しい』と感じる事例があります。そんな時、できること、すべきことを、一緒に学びませんか？

他の現場の支援者や専門職の視点から、新たな気づきやつながりが見えてくるかもしれません。

講 師（助言者・シンポジスト）：あいいうえお順

赤川 力 先生（西九州大学子ども学部心理カウンセリング学科 准教授）

寺本 葉子先生（佐賀県教育委員会スクールソーシャルワーカースーパーバイザー）

宮下 聡 （精神科医師・佐賀県精神保健福祉センター所長）

日 時： 令和8年9月 16日（水） 13:30～16:30（受付 13:15～）

場 所： ゆめぷらっと小城 1F 研修室（小城市小城町253-21）

対 象： 10代の若者の支援に携わる方

＊10代の若者と関わる教諭およびスクールソーシャルワーカー、カウンセラー等の教育機関職員

＊市町・県職員である保健師および各種相談員、施設職員等10代の若者の相談に係る関係職の方
～各機関2名までの参加。特に各機関で基幹的な役割を果たされる方の参加を推奨。

～基本的には先着順、事例提供を希望される方、各機関で基幹的な立場にある方を優先します。

定 員： 30名

内 容： ＊詳細は変更の可能性があります

参加費：無料

時間	内容	講師等
13:30～13:35	開会・挨拶 趣旨説明	精神保健福祉センター所長 精神保健福祉センター職員
13:35～15:15 (100分)	事例を用いた演習 ・・・参加者から募集した事例をもとに、 事例の見立てや支援方法について意見 を出し合い、対応方法を学ぶ。 全体での討議を通じて、他の支援者の 視点や他機関との役割の違いを理解す る。 助言者から専門家の視点を学ぶ。	<助言者> 赤川 力 先生 (スクールカウンセラーの立場から) 寺本 葉子先生 (スクールソーシャルワーカーの立場 から) 宮下 聡 所長 (精神科医師の立場から)

15:15～15:25	～休憩～	
15:25～16:25 (60分)	シンポジウム・質疑 …講師によるシンポジウム形式のレクチャー。それぞれの視点で支援におけるポイントや専門家につなぐタイミング方法などを伝える。 事前質問を踏まえての講話・意見交換を聞く中で、連携してより効果的な支援を行うことについて理解を深める。	<シンポジスト> 同上
16:25～16:30	閉会	

申し込み方法：左下の QR コードもしくは下記 URL よりお申し込みください。
(締め切り 9月10日…事例提供を希望・検討中の方は、8月17日までをお願いします)

*当日検討する事例(「自殺について心配している」(例として、「死にたい」という気持ちを持っている、自傷や OD などの行動が続いている等)小中高生の事例)を募集します!

守秘や提供サポートなどに関する詳細は、申し込みフォームをご覧ください。

…事例提供をご希望の方には後日こちらから改めてご連絡させていただきます。



<https://logoform.jp/f/MnIZ7>

その他：

*支援事例を取り扱うため、当日参加者には守秘に関する誓約書へのサインをお願いします。

<問い合わせ先> 佐賀県精神保健福祉センター (担当：山口・宮村・福田)

☎ 0952-73-5060 ✉ seishinhokenfukushisenta@pref.saga.lg.jp